

章	節	項目	ランク	メモ
	第1章 財務・会計とは			
	①財務・会計とは			
	1財務・会計とは		A	
	2会計の概要	1会計の種類		
		(1)貸借対照表の概要	S	
		(2)損益計算書の概要	A	
		(3)キャッシュフロー計算書の概要	A	
		2簿記		
	3財務の概要		A	
	4財務・会計とビジネスの関係		S	
	第2章 財務諸表概論			
	①財務諸表の基本			
	1財務諸表の種類	1会社法	A	
		2金融証券取引法	A	
		3四半期財務諸表に関する会計基準	B	
	2財務諸表の作成目的		A	
	②貸借対照表 B/S			
	1貸借対照表の構造	1流動・固定の分類基準		
		(1)正常営業循環基準	A	
		(2)一年基準	A	
	2資産の部	1流動資産 Current assets		
		(1)現金及び預金 Cash equivalents	S	
		(2)受取手形 Notes	A	
		(3)売掛金 Accounts receivable	S	
		(4)貸倒引当金 Accounts doubtful	A	
		(5)有価証券 Marketable securities	A	
		(6)商品 Inventories	S	
		(7)その他の流動資産の項目 Others	B	
		2固定資産 Fixed assets		
		(1)有形固定資産		
		①建物 Buildings	S	
		②車両運搬具	A	
		③土地 Land	A	
		④建設仮勘定 Construction in process	B	
		(2)無形固定資産 Intangible	B	
		(3)投資その他の資産	B	
		①投資有価証券 Securities	A	
		②長期貸付金 Long-term loan	B	
	3負債の部	1流動負債 Current liability		
		(1)支払手形 Notes payable	B	
		(2)買掛金 Accounts payable	S	
		(3)短期借入金 Short-term debt	A	
		2固定負債		
		(1)社債 Bonds	B	
		(2)長期借入金 Long-term debt	A	
	4純資産の部	1株主資本 Shareholder's equity		
		(1)資本金 Stock capitalization	A	
		(2)資本剰余金 Capital surplus		
		①資本準備金	B	
		②その他資本剰余金	B	
		(3)利益剰余金 Capital surplus		
		①利益準備金 Earned reserve	A	
		②その他利益剰余金	B	
		(4)自己株式	B	
		2評価・換算差額等	C	
		3新株予約権	C	
	③損益計算書 P/L			
	1損益計算書の構造			
	2損益計算書の内容	1売上総利益まで		
		(1)売上高 Sales	S	
		(2)売上原価 Cost of goods and sold	S	
		(3)売上総利益 Gross margin	S	
		2営業利益まで		
		(1)販売費及び一般管理費 SG&A	S	
		(2)営業利益 Operating income	S	
		3経常利益まで		
		(1)営業外収益	A	
		(2)営業外費用	A	
		(3)経常利益	S	
		4税引前当期純利益まで		
		(1)特別利益	B	
		(2)特別損失	B	
		(3)税引前当期純利益	S	
		5当期純利益まで		
		(1)法人税、住民税及び事業税	A	
		(2)当期純利益	S	
	3損益計算書作成時の	1収益・費用の認識基準		
		(1)現金主義	B	
		(2)発生主義	B	
		(3)実現主義	A	
		2収益・費用の測定基準	B	
	④株主資本等変動計算書 C/N			
		1株主資本等変動計算書とは	B	
	⑤キャッシュフロー計算書 C/F			
	1キャッシュフロー計算書	1キャッシュフロー計算書	A	

章	節	項目	ランク	メモ	
2	キャッシュ	1キャッシュの範囲			
		①現金 Cash	A		
			②現金同等物 Cash equivalents	B	
	3	キャッシュフロー計算書	1キャッシュフロー計算書の区分		
			(1)営業活動によるCF	S	
			(2)投資活動によるCF	A	
			(3)財務活動によるCF	A	
2キャッシュフロー計算書の具体例		S			
第3章 経営分析					
①経営分析の基本					
1経営分析の意義等					
		①分析主体	B		
		②分析目的	B		
		③分析方法	B		
2経営分析の進め方					
3経営分析における資本と損益の概念					
		1経営分析における資本概念			
		(1)総資本	S		
		(2)経営資本	B		
		(3)自己資本	S		
		2経営分析における損益概念			
		(1)事業利益	B		
		(2)金融費用	B		
		3経営分析に使用するBSとPL			
②収益性分析					
1収益性分析の意義と体系					
2資本利益率					
		1総資本経常利益率	S		
		2総資本事業利益率(ROA)	S		
		3経営資本営業利益率	B		
		4自己資本利益率(ROE)	S		
3売上高利益率					
		1売上高総利益率	S		
		2売上高営業利益率	S		
		3売上高経常利益率	S		
		4売上高当期純利益率	B		
		5費用面からの分析指標			
		(1)売上高売上原価率	A		
		(2)売上高販管費比率	A		
		(3)売上高金融費用比率	B		
③効率性分析(回転率・回転期間)					
1効率性分析の意義と定義					
2効率性分析					
		1総資本回転率	S		
		2経営資本回転率	B		
		3売上債権回転率	A		
		4棚卸資産回転率	S		
		5有形固定資産回転率	S		
		6その他の回転率			
		(1)買入債務回転率	B		
		7回転期間			
		(1)売上債権回転期間	A		
		(2)棚卸資産回転期間	S		
		(3)買入債務回転期間	B		
④安全性(流動性)分析					
1安全性分析の意義と体系					
		(1)短期安全性分析	B		
		(2)長期安全性分析	B		
		(3)資本調達構造分析	B		
2短期安全性					
		1流動比率	S		
		2当座比率	S		
3長期安全性					
		1固定比率	A		
		2固定長期適合率	A		
4資本調達構造					
		1自己資本比率	S		
		2負債比率	S		
5その他の安全性分析指標					
		1インタレストカバレッジレシオ	B		
⑤生産性分析					
1生産性分析の意義と体系					
2生産性と付加価値					
3各種生産性分析					
		1労働生産性	B		
		2資本生産性	B		
⑥CF計算書分析					
1CF計算書分析の基本					
		1営業CFの分析	S		
		2投資CFの分析	A		
		3財務CFの分析	A		
		4フリーCFの分析	A		
		5運転資本(運転資金)について	A		
2CF計算書における企業の経営活動の分析 S					
第4章 管理会計					

章	節	項目	ランク	メモ
	●CVP分析			
	1CVP分析		S	
	2原価、営業量、利益			
		1原価の分類		
		(1)変動費の意義	S	
		(2)固定費の意義	S	
		2営業量	A	
		3限界利益	S	
	3損益分岐点の計算と損益分岐点図表			
		1損益分岐点(SBEP)の営業量	S	
		2 SBEPと損益分岐点図表	S	
	4損益分岐点比率・安全余裕率の計算			
		1損益分岐点比率	S	
		2安全余裕率	S	
		3安全余裕率の向上	A	
	5感度分析		S	
	6営業外損益の取り扱い		S	
	●利益差異分析			
	1売上高差異分析		A	
	2費用差異分析		A	
	●セグメント別損益計算			
	1製品品種別損益計算(1)			
	2製品品種別損益計算(2)			
	3セールスマックス			
	4セグメント別の業績評価			
	第5章 意思決定会計(投資の経済性計算)			
	●意思決定会計			
	1設備投資の経済性計算に関する前提知識		S	
	2時間価値の計算			
		1現在価値の考え方	S	
		2割引率	S	
	3正味CFの予測			
		1経済的効果(正味CFあるいはCF)		
		(1)法人税を無視した場合(税引前CF)		
		①設備投資額	S	
		②経済的効果	S	
		③設備売却額	A	
		(2)法人税を考慮した場合(税引後CF)		
		①設備投資額	S	
		②経済的効果	S	
		③設備売却額	A	
	4資本コスト		S	
	●設備投資の経済性計算			
	1投資や事業の評価		A	
	2設備投資案の評価と選択			
		1正味現在価値法(NPV)	S	
		2内部収益率法(IRR)	A	
		(1)内部収益率の意義		
		(2)問題点		
		(3)年金現係数の利用		
		3収益性指数	A	
		4回収期間法	B	
		(1)計算方法		
		(2)問題点		
	3NPV法とIRR法の比較		A	
	4代替投資の評価			
		1代替投資の考え方	S	
		2特殊原価		
		(1)埋没原価	S	
		(2)機会費用	S	
	●不確実性下の意思決定			
	1リスク調整法			
		1リスク調整割引率法	B	
		2確実性等価法	B	
	第6章 ファイナンスⅠ(企業財務論)			
	●企業財務論(コーポレートファイナンス)の基礎			
	1企業の財務意思決定			
		1投資意思決定	A	
		2資金調達意思決定	S	
		3利益分配の意思決定	B	
	2ファイナンスの目的		B	
	3企業価値の計算			
		1企業価値の最大化と株価の最大化	S	
		2企業価値の計算☆超重要株式価値・負債価値を別々に求める方法		
		(1)株式価値の計算	S	
		(2)負債価値の計算	S	
	●株価と債券価格の計算			
	1株価の計算			
		1株式の期待収益率	S	
		2配当割引モデル		
		(1)ゼロ成長モデル	S	
		(2)定率成長モデル	S	
		3株価の妥当性の評価指標		
		(1)1株あたり配当金 DPS	A	

章	節	項目	ランク	メモ
	1	商品売買		
		1 掛けによる売買	A	
		(1) 意義		
		(2) 売掛金・買掛金		
		(3) 具体的処理		
		2 仕入諸掛	C	
		(1) 意義		
		(2) 付随費用がある場合の取得原価		
		(3) 会計処理(当社負担のケース)		
		(4) 具体的処理		
		3 返品・値引	B	
		(1) 返品		
		(2) 値引		
		(3) 返品・値引の売上勘定と仕入勘定への記入		
		(4) 返品・値引がある場合の取得原価		
		(5) 損益計算書表示		
		4 前渡金・前受金	C	
		(1) 意義		
		(2) 会計処理		
		(3) 具体的処理		
		5 現金割引	B	
		(1) 意義		
		(2) 会計処理		
		(3) 具体的処理		
	2	手形取引		
		1 手形	C	
		(1) 意義		
		(2) 簿記上の分類		
		2 手形の割引	C	
		(1) 意義		
		(2) 会計処理		
	3	貸倒れ		
		1 貸倒れとは	B	
		2 会計処理	B	
		(1) 前期以前発生債権の当期貸倒れ		
		(2) 当期発生債権の当期貸倒れ		
		3 具体的処理	B	
	④	決算整理		
		1 決算整理とは	S	
		2 減価償却		
		1 減価償却	S	
		(1) 減価償却の意義		
		(2) 減価償却費の計算方法		
		2 償却方法	S	
		(1) 定額法		
		(2) 定率法		
		3 期中取得	A	
		4 会計処理および記帳・表示方法	A	
		(1) 記帳方法		
		(2) 減価償却累計額の貸借対照表示		
		3 貸倒引当金		
		1 貸倒引当金の設定	A	
		(1) 会計処理		
		(2) 設定方法		
		(3) 損益計算書表示		
		(4) 貸借対照表示		
		4 売上原価の算定		
		1 売上原価	S	
		(1) 意義		
		(2) 売上原価の算定		
		(3) 三分法		
		(4) 具体的処理		
		(5) まとめ		
		2 商品有高帳	A	
		(1) 意義		
		(2) ひな形		
		3 払出単価の計算	A	
		(1) 意義		
		(2) 払出単価の算定方法		
		4 商品の期末評価	A	
		(1) 処理の流れ		
		(2) 期末商品帳簿棚卸高の計算		
		(3) 棚卸減耗費の計算		
		(4) 商品評価損の計算		
		(5) 損益計算書表示		
		5 経過勘定		
		1 意義	A	
		2 前払費用(費用の繰延)	B	
		(1) 意義		
		(2) 仕訳		
		(3) 具体的処理		
		3 前受収益(収益の繰延)	B	
		(1) 意義		
		(2) 仕訳		
		(3) 具体的処理		

章	節	項目	ランク	メモ
		4未払費用(費用の見越)	A	
		(1)意義		
		(2)仕訳		
		(3)具体的処理		
		5未収収益	A	
		(1)意義		
		(2)仕訳		
		(3)具体的処理		
		6経過勘定の貸借対照表表示(まとめ)	A	
	⑦繰延資産			
		1繰延資産	A	
	⑧精算表			
		1精算表の概要	A	
		(1)意義		
		(2)作成目的		
		(3)精算表の作成方法		
		2精算表の作成例	A	
		(1)売上原価の算定		
		(2)減価償却		
		(3)経過勘定		
	第9章 キャッシュフロー計算書			
	①CF計算書の具体例		S	
	②直接法によるCF計算書の作成			
	1営業活動によるCF			
		1営業収入	S	
		2原材料又は商品の仕入れによる支出	A	
		3人件費の支出とその他の営業支出	A	
		4その他の取引によるCF(小計以下の調整)	A	
	2投資活動によるCF		A	
	3財務活動によるCF		A	
	③間接法によるCF計算書の作成		S	
	第10章 原価計算			
	①原価計算制度の基礎			
	1原価計算期間		B	
	2原価の分類と構成			
		1原価の基礎的分類		
		(1)原価の機能による分類	S	
		(2)製造原価の分類(形態別分類)	S	
		2製造原価の分類(製品との関連による分類)		
		(1)製造直接費	S	
		(2)製造間接費	S	
	②原価計算制度			
	1製造原価報告書			
		(1)当期総製造費用の計算	A	
		(2)当期製品製造原価の計算	A	
	2原価計算の種類			
		1個別原価計算と総合原価計算		
		(1)個別原価計算	S	
		(2)総合原価計算	S	
		2実際原価計算と総合原価計算		
		(1)実際原価計算	A	
		(2)標準原価計算	S	
	第11章 会計規則			
	①収益・費用の認識基準			
	1期間利益		S	
	2費用収益対応の原則		S	
	3収益・費用の認識基準(計上基準)			
		1現金主義	B	
		2発生主義	B	
		3実現主義	B	
	②金融商品に関する会計基準			
	1有価証券の保有目的による区分			
		1その他有価証券	B	
		2有価証券の強制評価減	B	
	③固定資産の減損に係る会計基準			
	1減損処理の意義			
		1減損処理の意義	B	
		2減損処理の目的	B	
	2会計手続き		B	
	④資産除去債務に関する会計基準			
	1資産除去債務の意義		C	
	2会計手続き		C	
	⑤分配可能額の計算			
	1分配可能額の計算			
		1資本金	A	
		2株主資本等変動計算書	A	
		3剰余金の算定	C	
		4分配可能額	A	
		5剰余金の配当による準備金の計上	A	
	⑥リース取引に関する会計基準			
	1リースの定義		B	
	2リース取引の分類			
		1ファイナンス・リース取引	B	

章	節	項目	ランク	メモ
		2オペレーティング・リース取引	B	
	3会計手続き		B	
		●税効果会計に係る会計基準		
		1会計上と税務上の考え方	B	
		2税効果会計の目的	B	
		3会計手続き(法人税等調整額)	B	
		●連結CF計算書等の作成基準		
		1資金(キャッシュ)の範囲	S	
		2表示区分		
		1第1法	C	
		2第2法	C	
		●工事契約に関する会計基準		
		1工事進行基準と完成基準の意義	B→A	
		2成果の確実性	B→A	
		●連結財務諸表に関する会計基準		
		1連結の対象	C	
		2資本連結		
		1投資と資本の相殺消去	C	
		2のれん	C	
		3非支配株主持分	C	
		●棚卸資産の評価に関する会計基準		
		1棚卸資産の意義	C	
		2評価基準と評価損の表示		
		1評価基準	C	
		2評価損の表示	C	